

## 庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成28年11月30日（水）午後1：30～3：30

場 所：余目保健センター

出席委員：菅原源也、齋藤学、市村正浩、佐藤昭一、佐藤トク、齋藤君夫、水尾良孝  
中鉢智幸、鈴木恵子、工藤むつ子

（欠席）遠藤 秀男、庄司 武晴、鎌田 剛、渡會 弘喜

出席職員：池田保健福祉課長、石川主幹、高山課長補佐、小林課長補佐、鈴木主査兼地域  
支援係長、長南主査兼介護保険係長、加藤主査兼福祉係長、阿部主査兼健康健康  
福祉係長

内容は次の通り

### 1 開会

2 委嘱状の交付 池田保健福祉課長 菅原委員に代表で委嘱状を交付

3 あいさつ 池田保健福祉課長 協議事項多く、多分野の審議をお願いする。

4 委員長選出 事務局一任により水尾良孝氏を選出。  
事務局案で委員長が職務代理者に佐藤昭一氏を指名。

### 5 協議

#### （1）健康しょうない21計画策定について

高山課長補佐より説明（資料1）

市村委員：集落公民館の受動喫煙アンケートの内容について質問。

高山補佐：前回アンケートを基本に、まだ案の段階であることを説明し、前回アンケート内容を説明。

市村委員：前回との比較調査を行うのか。

高山補佐：禁煙をすすめたい。

役場庁舎の内、立川庁舎が建物内喫煙になっているので、公共施設の禁煙をすすめるためには、役場庁舎での対策も必要になっている。

齋藤(君)委員：アンケートの対象について、どのように考えているのか。

高山補佐：無作為抽出の予定ではあるが、介護認定のある人は外したいと考えている。

齋藤(君)委員：同じ家庭にアンケート対象者が複数名とならないように配慮すべき。

高山補佐：個人の健康調査なので、同じ家庭で複数名となっても問題ないと思っている。1月末の健診申込意向調査と一緒にやる。

水尾委員長：トラブルが起こらないように、対応してもらいたい。

(2) 庄内町地域福祉計画の策定について

加藤主査兼福祉係長より説明（資料2）

齋藤(君)委員：社会福祉協議会の福祉活動計画と一緒に計画となっているので、もう少し早くから取り組んでほしかった。町の政策がないと活動計画が作れない。これからのために、意見として申し上げる。

12月中に計画原案の骨子を示すのか。

加藤主査：次回の委員会で審議いただくため、12月下旬には各委員に原案を送付する予定である。

市村委員：現行の計画の評価と計画原案を示すのか。

加藤主査：その予定である。

水尾委員長：現行の計画の評価が分かるように、対応してもらいたい。

(3) 障がい者を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領について

加藤主査兼福祉係長より説明（資料3）

齋藤(君)委員：職員が適切な対応をするための要領かと思うが、職員が不足している状況で、適切な対応ができないのでは。

加藤主査：心配は無用かと思う。日々気をつけて対応している。

齋藤(君)委員：今の答弁を実行されるように。議会への対応は必要ないのか。

水尾委員長：要領なので、議会に諮る必要はないかと思う。

加藤主査：町の課長会議等で周知し意見をいただき、町長に起案する。

菅原委員：資料を事前に配布すべきではないか。

加藤主査：次回の委員会で皆様から意見をいただき、関係団体からも意見をいただく予定である。

(4) 日常生活圏域高齢者ニーズ調査について

鈴木主査兼地域支援係長より説明（資料4）

質疑なし

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について

鈴木主査兼地域支援係長より説明（資料5・パンフレット）

水尾委員長：パンフレットの配布はいつになるか。

鈴木主査：パンフレットは、全世帯への配布でなく、余目と立川で1回ずつ開催する町民説明会の参加者と利用対象者へ配布する。

町民には、広報で周知する。

水尾委員長：利用者が困らないように対応してもらいたい。

(6) 在宅介護実態調査について  
長南主査兼介護保険係長より説明（資料6）  
質疑なし

(7) その他  
なし

6 その他  
次回1月中旬予定。日程を早めに決めご案内したい。  
事前資料の送付について気をつけたい。

7 閉会